



- 街道入口
↓ 0:10
- 沢
↓ 0:19
- 杣道入口
↓ 0:02
- 亀ノ尾峠
↓ 0:10
- 標柱145
↓ 0:27
- 杣道分岐
↓ 0:08
- 笠城(422m)
↓ 0:05
- 杣道分岐
↓ 0:15
- 杣道入口
↓ 0:03
- 一ノ岳取口
↓ 0:10
- 山石碑
↓ 0:22
- 尾根
↓ 0:30
- 丸岩
↓ 0:16
- 林道分岐
↓ 0:08
- 殺虫剤
↓ 0:05
- 一ノ岳分岐
↓ 0:02
- 一ノ岳(648m)
↓ 0:36
- 2分分岐
↓ 0:06
- 陣ノ尾岳(696m)
↓ 0:25
- 林道終点
↓ 0:36
- 一ノ岳取付口
↓ 0:17
- ゲート
↓ 0:16
- 林道入口
↓ 0:05
- 街道入口

笠城～一ノ岳～陣ノ尾岳 2011.09.09(金)晴れ

街道入口～亀ノ尾峠～笠城～亀ノ尾峠～山石碑～林道分岐～一ノ岳～陣ノ尾岳～林道終点～ゲート～駐車地



8:39 駐車地の対岸の街道入口



沢水の流れがあるが右の笹ヤブに街道が通る



8:45 階段状の石垣が
段々畑なのか住居跡なのか



市の瀬から亀ノ尾峠を越えて五ヶ山へ至る道で、博多と佐賀県神埼を結ぶ重要な道路であった肥前・筑前街道の一部です。この道は文化庁選定の「歴史の道百選」にも選ばれており、所々に昔を偲ばせる石畳が残っています。

8:49 所々に筑前・肥前街道の標識
沢を渡る



沢から下流側



8:52 苔むした石畳が残る街道を、緩々と上る



9:10 杣道入口
植林の中に杣道を通じ笠城のコルに出る



西側はヌタ場のような場所で平地のよう。
左奥に赤テープがあり辿ると山石碑に到る亀ノ尾峠からの踏み跡が右から合流する



9:16 亀ノ尾峠



右側の急な斜面が笠城への取付き点



9:29 標柱145
亀ノ尾城址と言われているが展望なく、遺構も見い出せず



9:44 尾根沿いに東へ進み枝打ちされた檜林の先に見る笠城



9:50 笠城の三角点



樹枝越しに九千部山のアンテナが望まれる



10:22 亀ノ尾峠の一ノ岳への取付き点
峠西側の木に赤テープが巻かれており、斜面に踏み分けが南側についている。



10:33 赤テープを拾いながら、やや急な斜面を上ると前方に山石碑が現れる



赤テープの情報



10:56 緩い尾根の端部



11:34 丸岩を通過
オニギリのような丸岩の左を通過する



11:52 炭焼き窯跡を左へ



12:03 陣ノ尾分岐



鎌倉時代に千葉氏によって築かれたといわれる山城です。戦国時代には勝尾城(佐賀県鳥栖市)を本拠とした筑紫氏の詰城としても整備された。現在も石垣や堅堀などが見られ、往時を偲ぶことができる。

12:05 一ノ岳
展望は得られず



樹枝越しに脊振山のドームが望まれる



13:21 2分岐



13:26 16分岐



68号→林道終点へ
69号→陣ノ尾岳へ



標高点648mが一ノ岳



13:27 陣ノ尾岳
展望得られず



13:39 プラ階段を下る



13:54 林道終点到着
プラ階段は土砂が流出して浮き上がっていた



13:57 鉄塔68号から九千部山を望む



14:45 一ノ岳取付口



14:54 ゲートが現れる



15:03 亀ノ尾林道を下る



15:10 亀ノ尾林道の案内



15:16 林道入り口付近から笠城を望む



15:20 駐車地が見えてきた



キンミズヒキ



オニフスベ



シキミの実



ツチアケビ



ヤブミョウガ



ベニタマゴタケ



ヒヨドリソウ



ツリフネソウ



ノジギク



ゲンノショウコ



ミズヒキ